

一人でなく チームでつくる保育

船堀中央保育園



全職員が子ども全員を見るときは？ ～園全体での職員同士が支え合う協力体制～

現在自園では、園全体を見ようという意識は持つてはいるが、自分のクラスだけの運営になりがちという課題を抱えていた。年度初めに職員の目標として、“伝え合う力を養う”が挙げられた。“チームで作る保育”を実現する為にはもっと保育(子どもの姿、発達)について伝え合い・語り合う必要があると考え、職員間で話し合う場を設けた。日々の保育をより良くする為には、1年間で子ども達にどう育てて欲しいか、コロナ禍で保育を保護者にどのように伝えるか等、イメージや情報を共有しやすい議題を提供し園内研修を行った。

園内研修の中では行事がコロナ禍で中止になり、今までとは違った新しい環境での活動の進め方や子どもの様子を保護者に伝える方法等具体的かつ実践可能な案が出た。



園内研修を通して、 語り合うために職員全員で考える



1回目の園内研修では、クラス毎に今まで以上に良い保育にする為には、具体的にどのような事を行ったら良いか考えた。

「語り合う為は何曜日に話す時間を設けよう」や「こんな活動を取り入れたら、子ども達が楽しいのではないか」、「コロナ禍で保護者にも良い保育を見せる為には」等の具体的かつ実践可能な案を出し合う事が出来た。

1回目の園内研修後、職員同士で子ども達の姿や保育の内容について今まで以上に語る時間や皆で提案した活動を実践していく事が出来た。



話し合いで出た内容を実践した

具体策を実践していく中で保護者・職員間のコミュニケーション不足という新たな改善点が出てきた。

2回目の園内研修の中で田の字ワーク※1を用い「保護者に保育を知ってもらう為には、もっとクラス投稿を充実させたい」や「乳児も幼児の様に活動の様子をドキュメンテーションにしてみよう」等の意見が挙がった。

<p>9月の研修後 実践して良かった事</p> <p>保護者の様子や活動の様子を写真や動画で撮影し、保育の様子を保護者に伝えることができた。</p> <p>保護者の様子や活動の様子を写真や動画で撮影し、保育の様子を保護者に伝えることができた。</p> <p>保護者の様子や活動の様子を写真や動画で撮影し、保育の様子を保護者に伝えることができた。</p> <p>保護者の様子や活動の様子を写真や動画で撮影し、保育の様子を保護者に伝えることができた。</p>	<p>保育者 or 子供達 or 保護者の様子</p> <p>保護者の様子や活動の様子を写真や動画で撮影し、保育の様子を保護者に伝えることができた。</p> <p>保護者の様子や活動の様子を写真や動画で撮影し、保育の様子を保護者に伝えることができた。</p> <p>保護者の様子や活動の様子を写真や動画で撮影し、保育の様子を保護者に伝えることができた。</p> <p>保護者の様子や活動の様子を写真や動画で撮影し、保育の様子を保護者に伝えることができた。</p>
<p>// 改善した方が 良い所</p> <p>保護者の様子や活動の様子を写真や動画で撮影し、保育の様子を保護者に伝えることができた。</p> <p>保護者の様子や活動の様子を写真や動画で撮影し、保育の様子を保護者に伝えることができた。</p>	<p>他に行ってみたい事やアイデア等</p> <p>保護者の様子や活動の様子を写真や動画で撮影し、保育の様子を保護者に伝えることができた。</p> <p>保護者の様子や活動の様子を写真や動画で撮影し、保育の様子を保護者に伝えることができた。</p> <p>0歳</p>

※1 田の字ワーク(法人リーダー研修資料より)

実際にドキュメンテーションを使用した所保護者にとっても好評だった。職員間のコミュニケーションについては、伝達事項が多く日頃の子どもの姿を伝え合う事の少なさが見えてきた。



チームで作る保育とは、 語り合い、子どもの話題であふれている！

今回の園内研修で行った、田の字ワークや各クラスで語り合う場をどの様に設けるか等、職員で話し合いを行った事で経験年数や役職を超え、自分の視点から見た子どもの姿を新任職員も少しずつ伝え合い、コミュニケーションを取る機会が自然と増えていった。園内研修を通して“一人でなくチームで作る保育”とは、語り合う場が大切であるという事に繋がった。語り合う場や風土を作るために一人ひとりが職員間で自分の意見、子どもの姿を語る意識を持つ事・話を聞く時間を設ける事等、今後は職員が楽しい保育、環境を作ることが重要だと考察する。

